

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 岡山市立伊島小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒 700 - 0016
岡山市北区伊島町一丁目6番6号

E-mail ishimas@city-okayama.ed.jp

Website http://www.city-okayama.ed.jp/~ishimas/

児童生徒数 男子 450名 女子 422名 合計 872名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 福祉・地域理解 ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

第6学年 総合的な学習の時間 「私たちにできる国際協力」

伊島小学校では、3年前から6年生が、カンボジアにある「むつみ日本語学校」との交流を続けている。今年度も、カンボジアで日本語学校を開いておられる外部講師の先生から、カンボジアの子どもたちの話を聞くことを学習の入口とし、カンボジアの日本語学校の友達のために自分たちができることはないだろうかということを考え、活動をした。



どのような支援ができるかをクラスごとに話し合い、計画を立てて取り組むことにした。カンボジアの日本語学校に通う子どもたちのために、今年度の活動の例としては「漢字かるた」「うちわ」「紙袋のバッグ」「おもちゃ」の製作と寄贈、「書き損じハガキを回収し、カンボジアの地雷撤去活動を支援する活動」などがある。

様々なものを製作途中だった10月下旬、カンボジアからの子どもたちが本校を訪問するという機会を得ることができた。休み時間に一緒に遊んだり、学芸館高校の生徒による出前授業を一緒に受けたり、給食を一緒に食べたりして直接交流をもつことができた。その中で、カンボジアの生活について直接話を聞いたり、一緒に活動をしたりしたことで、カンボジアの友達が一生懸命日本語を勉強していることを知り、「自分たちの活動で喜んでもらえるようにしたい」という思いを、より強くした。

12月初旬までに作成したものを、学芸館高校の生徒がカンボジア研修に向かう際、届けていただいた。子どもたちは、そのときの様子を写真で見たり、カンボジアの友達からのお礼の手紙を読んだりすることで、自分たちが作った物が遠く離れたカンボジアで役に立っていることを実感することができた。今回、直接カンボジアの子どもたちと交流する機会に恵まれたことで、相手を正しく知ること、相手の立場に立って考えることの大切さを学ぶことができた。



3学期には、5年生への発表会を行った。この1年間、「カンボジアの友達のために」ということを常に考えながら活動してきたことや、この交流を続けてほしいという思いを5年生へ伝えることができた。

この国際協力実践活動をした経験が、児童のこれからの生活の中で、いつの日か大きく花を咲かせる日が来ると考えている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）